

富山県のSDGsの推進について

資料2

本県が目指す「SDGs未来都市」の姿

本県発展の原点である「水」に焦点をあて、

2030年においても **美しい山と海を有し、豊かな水の恵みを活かして持続的な経済発展を実現する県** を目指す



富山県SDGs未来都市計画を策定し、県のSDGsの取組みを推進（今年度から第3期：2025年～2027年）

1 将来ビジョン

地域の特性

- ・立山連峰や美しい富山湾など、豊かで美しい自然環境
- ・「名水百選」、「とやまの名水」など全国に誇れる清らかな水環境
- ・日本海側の中心に位置、環日本海・アジア地域の拠点

2030年のあるべき姿

環日本海地域をリードする「環境エネルギー先端県とやま」

- ①世界に誇れる雄大な「立山黒部」や「世界で最も美しい富山湾」など美しい山と海を有し、豊かな水の恵みを活かして持続的な経済発展を実現する県
- ②「富山物質循環フレームワーク」の実現に向けた「とやまモデル」が確立した県

2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール・ターゲット

【経済面】美しい山と海を有し、豊かな水の恵みを活かした経済発展

【社会面】カーボンニュートラルの実現に向けた「富山物質循環フレームワーク」の実現に向けた「とやまモデル」の確立

【環境面】地域固有の自然環境・水環境の保全

2

自治体SDGsに資する取組

自治体SDGsに資する取組

【経済面】

①「立山黒部」の高付加価値化 ②国際的ブランド「世界で最も美しい富山湾」の活用 ③水産業の振興と富山湾のさかなのブランド力向上 ④カーボンニュートラルの実現に向けた再生可能エネルギーの導入、新たなエネルギーの利用に向けた開発の促進

【社会面】

- ⑤脱炭素社会・循環型社会づくりの推進
- ⑥「富山物質循環フレームワーク」の実現に向けた「とやまモデル」の確立

【環境面】

- ⑦立山黒部をはじめとする雄大で美しく豊かな自然環境の保全
- ⑧環日本海地域の環境保全への国際貢献
- ⑨清らかな水資源の保全と活用 ⑩水と緑の森づくり

3

推進体制

各種計画への反映、行政体内部の執行体制

- 総合計画等においてSDGsの理念に沿った取組みを推進。各種計画の策定時及び改訂時にSDGsの理念を反映し、SDGsに関連する各種事業を展開。
- 県の各事業とSDGsの17のゴールとの関連付け、各種事業の推進に取組む。

ステークホルダーとの連携

- 経済界、有識者、NPO等が参画する富山県SDGs推進連絡協議会を開催し、県内のSDGsの推進に取組む。
- 富山市、南砺市、氷見市、滑川市などSDGs未来都市をはじめ、県内市町村と一体となってSDGs推進に取組む。

自律的好循環の形成

- 県内企業・団体等が自社の事業とSDGsの関連性を認識し、SDGsに関する取組みを宣言する、富山県SDGs宣言を実施。県内企業等の成長・発展戦略に繋げる。
- 民間企業との包括連携協定によるSDGs事業を実施。官民相互のノウハウ等を活かし、県民サービスの向上と地域活性化に努める。

第3期富山県SDGs未来都市計画の概要

第3期計画の主な追記事項

- ・第2期計画までの取組みの成果と今後の課題について整理し、項目を追加
- ・計画策定時からの時勢の変化を踏まえ、より効果的に取組みを進めるため、一部のKPIを変更



第3期計画はこちらより
ご確認ください

○成果と課題

➤ 「富山物質循環フレームワーク」の実現に向けた「とやまモデル」の確立

食品ロスの県民認知度については、全国平均より高い状況であり(富山県: 92.2%((2024(令和6)年)、全国: 78.9%((2024(令和6)年))、また、全県的な食品ロス等削減県民運動(とやま食ロスゼロ作戦)の展開により、食品ロス削減のための取組を行っている人の割合が81.3%(2020年)から90.5(2024年)%に増加した。

一方で若い世代で食品ロス削減に対する意識が低いといった課題があるため、世代・ライフスタイルに応じた食品ロス等に関する情報発信を強化するとともに、引き続きフードチェーン全体で商慣習の見直しに取り組むことなどにより、食品ロスの削減を推進していく必要がある。

➤ 水と緑の森づくり

里山林の整備面積については、県民協働による里山整備の推進により、2020年 3,603haから2023年4,061haに増加した。今後とも、多様な生態系に配慮しつつ、森林の状態や立地条件、地域のニーズ等を反映した県民参加による多様な森づくりを推進し、水と緑に恵まれた県土の形成に寄与することを目指す。

➤ 清らかな水資源の保全と活用

県民と行政などが協働した水環境保全活動の推進により、環境基準の達成状況等からみると本県の水環境は概ね良好な状況にある。今後とも、県民の環境保全への理解と自主的な保全活動への参加の促進や、地下水の節水、利用の合理化、涵養の取組を進め、全国に誇れる豊かで清らかな水資源を保全していく必要がある。

➤ 県民や県内企業等におけるSDGsの推進

令和3年度より、県内企業等が事業概要とSDGsを関連付け、その取組を宣言する「富山県SDGs宣言」の募集を実施し、県民や県内企業等におけるSDGs推進を促進している。引き続き宣言いただける企業・団体を募集し、SDGsを自分事として捉え取組む企業を増やすとともに、企業・団体間の連携を促進する必要がある。

第3期富山県SDGs未来都市計画のポイント

主な内容の変更について

○富山県カーボンニュートラル戦略を策定（令和5年3月）

- ・中期目標として2030年度の温室効果ガス排出量（2013比）53%削減を設定（国の46%よりも高い目標）
- ・庁内に設置の「推進本部」にて、部局間での連携、協働を図りながら実効性のある施策を推進
- ・産業、家庭、運輸などあらゆる分野で、省エネルギーの徹底、再生可能エネルギーの最大限の導入を進める
- ・豊富な水の活用や、高い持ち家率と広い住宅など、富山県らしさを踏まえて進める

＜推進本部の実施状況はこちら＞

<https://www.pref.toyama.jp/102221/kensei/carbonneutral/honbu/index.html>

令和6年度SDGs推進の主な取り組み

県民総参加のSDGsの推進

○富山県SDGs連携推進フォーラム、ワークショップ

(1) 富山県SDGs連携推進フォーラム

SDGsに取り組む企業・団体の更なる推進を図ることを目的にフォーラムを開催。

開催日時 令和6年10月16日(水) 13:00～16:30

開催場所 富山県民会館304号室

実施内容

・第一部 基調講演「2030年代の富山と世界にどう備えるか？」

講師:IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所]

代表:川北 秀人氏

・第二部 事例発表・トークセッション

事例発表者:水木 申明氏

(アルハイテック株式会社 代表取締役社長)

墨 勇志氏

(株式会社艶金 代表取締役社長)

ファシリテーター:川北 秀人氏

(2) 富山県SDGs連携推進ワークショップ

SDGsに取り組む県民、企業・団体の皆様がSDGsの推進に向けた気づきやパートナーシップのきっかけづくりを図るためのワークショップを開催。

【第1回】 令和6年11月25日(月) 13:00～16:30

【第2回】 令和6年12月5日(木) 13:00～16:30

開催場所:富山県民会館304号室

ファシリテーター:永島 啓太氏

(株式会社ロフトワーク クリエイティブディレクター)

カーボンニュートラルの推進

○県民向け普及啓発

県や市町村が主催する環境関係イベントや、県内の商業施設等にて小～中学生とその家族を対象とした体験型普及啓発ブースを出展。カーボンニュートラルについて楽しみながら学習し、「ワガコ化」を促進。

【令和6年度 出展先】

・10月6日

射水市環境とくらしフェア

・10月12日・13日

とやま環境フェア2024

・10月14日

ファボーレ

・10月19日・20日

魚津環境フェスティバル

・10月20日

カタールとやまホームゲーム

・10月26日

滑川市環境フェア 等



○GX(グリーン・トランスフォーメーション)の推進

県内企業のGX対応を後押しするため、実務担当者向けセミナーの開催や「富山県版GX取組み手引書」を作成・公表。



「今日から始めるGX推進セミナー」の様子



富山県版GX取組み手引書

令和6年度SDGs推進の主な取り組み

環境教育の推進

〇とやま環境フェア

環境について幅広く学ぶことができる「とやま環境フェア2024」を開催

開催日時

令和6年10月12日(土)～令和6年10月13日(日)

開催場所

富山産業展示館テクノホール西館大展示場

実施内容

- ・CHIKOさんがきく！ 教えてデコ活応援隊長！！
- ・地球を救うアカデミー WoWキツネザルさんクイズショー
- ・秋元才加さん「エコな配達」についてのトークイベント
- ・よしもと住みます芸人 ノビ山本さんのデコ活勉強会
- ・県内企業・団体等による体験・体感型の展示(工作体験、実験など)
- ・0円服の交換会
- ・その他イベント多数

参加者数

6,500人



ステージイベント



体験型ブース

海岸漂着物対策推進事業

〇県内全域での漂着ごみ対策

【みんなできれいにせんまいけ大作戦2024】

市町村等と連携して、県民総参加の清掃キャンペーンを展開

- ・実施時期: 令和6年6月～10月
- ・参加人数: 3万4千人

【とやま海ごみボランティア部】

県内の企業・団体等が参加する「とやま海ごみボランティア部」のメンバーによる清掃活動の促進

・メンバー合同での清掃活動

令和6年10月19日(土)、岩瀬浜海水浴場、参加人数: 102人

・海洋ごみ問題を考えるワークショップの開催

カードゲームを活用し、海洋ごみ問題の解決について考えるワークショップの開催

- ・令和6年10月19日(土)、富山市エコタウン交流推進センター、参加人数: 12人

【とやま環境フェア2024での普及啓発】

漂着物削減に関するパネル展示を実施



とやま海ごみボランティア部による海岸清掃



ワークショップの開催

令和6年度SDGs推進の主な取組み

とやまの清らかな水環境の保全活動の促進

○水循環に関する環境観察会の開催

若い世代を対象に本県の豊かで清らかな水環境に理解を深め、保全活動への参加を促すため、「とやま森・川・海の水環境観察会」を開催

- ・実施時期：令和6年6月～8月（5回開催）
- ・参加人数：小学生とその保護者175名
- ・実施内容：海や川の生き物調査、植林体験



森と地下水の水環境観察会



川の水環境観察会

○名水巡りツアーの開催

県内各地の名水に触れ合うことで、本県の恵まれた水環境の魅力を再発見し、また、水環境保全の重要性を理解してもらうため、令和6年8月に県内2か所で「名水巡りツアー」を開催（小学生とその保護者54名が参加）



弓の清水

○「地下水の守り人」次代の担い手育成講習会の開催

県の貴重な財産である地下水や「地下水の守り人」の知識を次世代に引きつぐため県内の大学生を対象に地下水について学ぶ講習会を開催（大学生等19名が参加）



「地下水の守り人」による講習

「富山のさかな・水産加工品」ブランド化の推進

○とやまの食材プロモーション事業の実施

富山の食材の、生産者と実需者のバリューチェーンを構築するため、オンラインでのマッチングサイトの運営や、高級飲食店等のバイヤーを招へいたツアー、鮮度の高い「富山のさかな」等の輸送事業など、食材プロモーションを総合的に展開。

(1)「とやま食材マッチング」サイト

- ・登録者 バイヤー147人、生産者123人（R7.2月現在）

【登録生産者向け】

定期的なバイヤーニーズのレポート配信（売り場動向など）

登録商品情報のブラッシュアップ指導の実施

【登録実需者向け】

生産者の商品ストーリーを発信



(2) 首都圏バイヤー県内産地ツアー

首都圏バイヤーを県内に招へいし、漁港や青果市場、生産現場など産地視察や、生産者との意見交換を実施。

- ・招請バイヤー：5社
- ・実施時期：令和6年8月、10月、令和7年1月

(3)「とやまの食」新幹線・航空機輸送事業助成金

- ・新幹線輸送：1箱あたり2,500円（上限250千円）
- ・航空機輸送：1^キあたり 50円（上限250千円）

令和6年度SDGs推進の主な取組み

エシカル消費PR事業

○公共交通機関等広告掲載

若年層等に「エシカル消費」を浸透させるため、公共交通機関の構内や車内等にエシカル消費の広告を一定期間掲示する取組みを実施

実施期間：令和7年2月

実施内容：

- ①富山地鉄の鉄道・路面電車・路線バスの車内広告
- ②電鉄富山駅コンコース構内（丸柱）広告



電鉄富山駅コンコース広告

○シンポジウムの開催

日時：令和6年10月10日（木）

場所：富山県民共生センター

<講演>

講師：（一社）日本サステナブル・ラベル協会
代表理事 山口 真奈美 氏

テーマ：「暮らしの中でSDGsに貢献する
エシカル消費」



講演

○大学生による普及活動等

県内大学生がエシカル消費について学び、普及啓発の取組みとして高校生への出前講座を企画・実施

○消費生活研究グループによるエシカル消費に関する研究等

県消費者協会が育成し、地域で活動する「消費生活研究グループ」がエシカル消費を調査研究し、消費者大会等で発表。



グループパネル展示

食品ロス削減の取組み

○フードドライブの定着・拡大

家庭から発生する手付かず食品の有効活用を促進するため、フードドライブの定着・拡大に向けた取組みを推進

<実施内容>

フードドライブ実施団体への支援

資器材（のぼり旗、コンテナボックス等）の貸出し、食品提供側と受取側のマッチング支援、県HPでのPR



【スーパーでの常設のフードドライブ回収ボックス】

実施件数：93件（45団体により、15市町村で開催）※3月末時点

○食ロスゼロアクション推進事業

家庭での食品ロス削減を推進するため、取組みの動画を活用した普及啓発を実施。

<実施内容>

子育て世帯、共働き世代、若者などライフスタイルに合わせた食品ロス削減の動画を制作し、SNS等でのデジタル広告により啓発・発信

動画再生回数：累計約9.9万回（R7.3月末現在）



○フードバンク活動の促進等

県内のフードバンク活動の拡大・定着のため、普及啓発やマッチングの推進を実施

- ・賛同企業数：44社
 - ・受取団体数：44団体
 - ・食品提供事業者と受取側とのマッチング件数：47件
- ※令和7年3月31日時点

令和6年度SDGs推進の主な取り組み

女性の活躍推進

○「とやま女性活躍企業」認定制度

企業の成長とウェルビーイングの実現に向けて、女性が活躍する県内企業等を県が認定し、公表する新たな制度を創設。

中小企業等において女性が活躍しやすい職場づくりを後押しするとともに、「選ばれる企業」としてのブランド力向上と優秀な人材確保を支援。

【認定基準】

- ・女性の管理職比率
 - ▶産業ごとの全国平均値以上
- ・時間外労働等の時間数
 - ▶各月ごとに全て45時間未満
- ・女性活躍推進に向けた取り組み
 - ▶具体的な取り組みを1つ以上行っている



【認定企業】

令和6年9月5日 第3回認定証交付式において19社を新たに認定
(認定企業数: 76社(令和6年9月5日時点))



パートナーシップ宣誓制度

○富山県パートナーシップ宣誓制度



すべての県民が個人として尊重され、多様性を認め合い、誰もが安心して心豊かに暮らせる人権尊重社会を目指すとともに、県民一人ひとりのウェルビーイングの向上に繋がる取り組みとして、令和5年3月1日から開始。

【パートナーシップ宣誓とは】

お互いをかけがえのないパートナーであることを約束する二人が、知事に対し、パートナーと共同して、パートナーシップにあることを宣誓するもの。県は、お二人の関係性を証明する「受領証」を交付。

【宣誓をすることができる方】

お二人が以下の条件を満たす必要がある。

- (1)成年に達していること
- (2)いずれか一方が、県内に住所を有しているか又は県内への転入を予定していること
- (3)現に婚姻していないこと
- (4)現に宣誓をしようとする相手方以外の者とパートナーシップにないこと
- (5)宣誓に係るパートナーと直系血族若しくは三親等内の傍系血族又は直系姻族でないこと

【宣誓件数】

74件(令和7年3月21日時点)

令和6年度その他の取組み

経済

○黒部宇奈月キャニオンルート開業プロモーション事業

「黒部宇奈月キャニオンルート」の開業気運醸成を図るプロモーションを展開

○カーボンニュートラル普及促進事業

地域の脱炭素を推進するため、金融機関や商工団体等を対象とした人材育成講座を実施

○脱炭素化モデル中小企業育成事業

県内の中小企業を対象に、再エネ・省エネ設備の導入を支援し、脱炭素経営のモデル企業を育成

○とやまの農林水産物輸出促進事業

輸出ビジネスに関する専門家派遣、市町村と連携し輸出に意欲的な事業者を支援、地域商社を中心とした輸出プラットフォームの形成等

○県営水力発電所リブレース事業

4発電所（庄東第一、大長谷第二、仁歩、若土）の全面的更新の実施

○小水力発電の導入促進

県で調査した有望地点（16地点）を公表、新規導入に向けたマッチング支援等を実施

○省エネ家電・機器買い換え促進による生活支援事業

省エネ性能の高い家電・機器の購入者に対し、品目に応じたポイントを交付し、買い換えを促進

○再生可能エネルギー導入促進事業

県民や県内企業に対し、自家消費型の太陽光発電設備や再エネ熱利用設備の導入を支援

○伏木富山港港湾脱炭素化推進計画の策定

県と民間事業者、関係市等で連携する港湾周辺の脱炭素化の取組みを検討し、「伏木富山港港湾脱炭素化推進計画」を策定

○伏木富山港水素等受入環境検討調査

県内における次世代エネルギーの需要動向等を踏まえ、伏木富山港における水素等の受入に必要な設備等を調査

令和6年度その他の取組み

社会

○「世界で最も美しい湾クラブ」加盟10周年記念ヨットレース開催支援事業

民間団体が行うヨットレースと記念行事の開催を支援、2日間で延べ1,300人が参加

○デコ活参加促進キャンペーン事業

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを実現する「デコ活」の普及啓発のためのキャンペーンを実施

○とやま環境未来チャレンジ事業

家庭における地球温暖化対策（デコ活）の取組みを拡大するため、小学生を対象とした環境教育「とやま環境チャレンジ10」の実施と教材のデジタル化に向けたアプリの制作

○エコな配達推進事業

通年で職場受取りを実施する事業所の募集・認定、環境フェアでのトークイベントや展示による普及啓発などを実施

○災害廃棄物処理体制強化促進事業

災害廃棄物対策の実効性の向上を図るため、災害対応の実務を担当する市町村職員や民間事業者を対象としたセミナーを開催

○プラスチック資源循環促進事業

廃プラスチック類の循環利用を促進するため、プラスチック排出事業者とリサイクル事業者等のマッチングに向けた支援を実施

○食品ロス・食品廃棄物削減対策事業

フードバンク活動促進事業、食品ロス削減につながる取組みの動画を活用した普及啓発を実施

○とやま食育フェアの開催

食育クッキングショー、農林水産体験、パネル展示などを通じて食育を啓発

○「とやまのエコフィード」利用畜産物ブランド化推進事業

酒造業者とのマッチング（酒粕、ワイン粕）、酒粕を給与した「とやま和牛 酒粕育ち」の販売促進

令和6年度その他の取組み

環境

○インフルエンサー活用生物多様性普及推進事業

インフルエンサーを活用し、とやま生物多様性フェスタの開催や生物多様性啓発動画を作成

○生物多様性活動推進事業

企業と環境保全団体のマッチングを推進するためのワークショップの開催及びマッチングサイトの開設

○北東アジア地域の環境保全の推進

北東アジア地域自治体連合（NEAR）環境分科委員会の運営、環境に関するプロジェクトの検討

○災害廃棄物処理体制強化促進事業

災害廃棄物を適切かつ迅速に処理するため、災害廃棄物の仮置場の設置・運営に係る訓練を実施

○イタイイタイ病の教訓の継承と発信

県立イタイイタイ病資料館において、床面展示（水系図）更新、特別企画展、語り部事業、語り部講話映像制作、小中学校の課外学習の受入れ等を実施

○富山県林業イノベーション推進総合対策事業

スマート林業を普及するため、ICT等の活用による木材生産などの効率化や安全性の向上を実証

○里山再生整備事業

県民参加による里山林整備の実施、地域住民の維持管理活動を支援

○早生樹等を活用した地域循環共生圏構築モデル事業

中山間地域の活性化につなげるため、荒廃農地等で成長に優れた早生樹等を植栽し、バイオマス燃料として活用するモデル事業を実施

○森づくりボランティアCO2吸収量認証事業

ボランティア団体等による森づくり活動を促進するため、森林整備活動によるCO2吸収量の認証制度を運用

令和7年度SDGs推進に向けた主な取組み

経済

○カーボンニュートラル戦略推進事業 728万円

カーボンニュートラル戦略の目標達成に向けて、脱炭素型ライフスタイルの普及や小水力発電の導入に向けたマッチングを支援

○富山型GX推進事業 300万円

県内企業等におけるグリーントランスフォーメーション（GX）の実現に向けて、県で作成した取組手引書の普及・活用を通じた取組みの実践を支援

○ものづくり産業サーキュラーエコノミー推進事業 1,600万円

県内ものづくり産業におけるサーキュラーエコノミー（循環経済）推進に向けた普及啓発やクリエイティブ人材を活用した異業種連携の推進

○再生可能エネルギー等導入促進事業 1億2,093万円

カーボンニュートラルを推進するため、県民や県内中小企業を対象に、太陽光発電設備など再エネ設備や省エネ設備の導入を支援

○省エネ家電・機器買い換え促進による生活支援事業 3億円

省エネ性能の高い家電・機器の購入者に対し、品目に応じたポイントを交付し、買い換えを促進

○EV導入促進事業 3,500万円

EV（電気自動車）の普及拡大に向けて、個人・事業者によるEV導入への支援と商業施設、集合住宅等での充電設備の導入を支援

○富山型高性能住宅促進事業 5,530万円

住宅分野でのカーボンニュートラルの実現やウェルビーイングの向上に向け、ZHE水準を上回る富山型独自基準を満たす高性能住宅の工事費等に対する支援等

○伏木富山港港湾脱炭素化推進

伏木富山港での「水素」の海上輸送による実証実験に向けた港湾関係者等と協議

令和7年度SDGs推進に向けた主な取り組み

社会

○とやま環境未来チャレンジ事業 950万円

家庭における脱炭素の取り組みを拡大するため、小学生を対象とした環境教育「とやま環境チャレンジ10」の実施と教材のデジタル化に向けたアプリの制作

○デコ活参加促進キャンペーン事業 1,000万円

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを実現する「デコ活」の普及啓発のためのキャンペーンを実施

○災害廃棄物処理マニュアル等作成事業 500万円

市町村と民間事業者を対象に初動対応等のマニュアルや災害廃棄物対策の要となる仮置場の管理運営に係るハンドブックを作成

○プラスチック資源循環促進事業 300万円

廃プラスチックの循環利用を促進するため、プラスチック排出事業者と製造事業者等のマッチングや資源循環に向けた協働をモデル的に実施

○とやまの農林水産物輸出促進事業 2億2,090万円

「富山県農林水産物等輸出拡大方針」（とやま輸出ジャンプアップ計画）に沿って各種施策を展開

○とやまの農業者応援プロジェクト事業 300万円

農業の生産コストの現状を伝え、県産農産物を買って応援するイベント等の開催

○食ロスゼロアクション推進事業 400万円

食品ロス削減を推進するため、食品ロス削減につながる取り組みの動画を活用した普及啓発を実施

○すぐ食べるなら！食ロスゼロキャンペーン事業 157万円

食品ロスを削減するため、県内の一部小売店でてまえどりや見切り品の積極的な購入による呼び掛けるキャンペーンを実施

令和7年度SDGs推進に向けた主な取組み

社会

○県有施設のLED化と公用の電気自動車導入の促進 5億9,960万円

県有施設照明のLED化と公用車の電気自動車への更新を計画的に促進

○県営水力発電所リプレイス事業 67億8,900万円

県内の3発電所（庄東第一、大長谷第二、仁歩）について固定価格買取制度を活用したリプレイス（全面的更新）を実施

○地熱バイナリー発電調査事業 1,800万円

魚津地域においてバイナリー方式による地熱発電の導入に向けた事業スキームの検討と事業採算性の評価を実施

令和7年度SDGs推進に向けた主な取り組み

環境

- ウッド・チェンジプロジェクト事業 950万円**
県産材の利用を図るため、民間建築物での県産材の需要拡大などウッド・チェンジを推進
- 北東アジア地域環境保全活動促進事業 300万円**
北東アジア地域の青少年を対象とした意見交換、自治体が連携したプロジェクトの検討
- とやま海岸漂着ごみ・SDGs理解促進事業 180万円**
海岸漂着物への理解を深め、対話を重ねながら解決策をともに考える、漂着ごみ・SDGsをテーマとしたワークショップを開催
- SDGsインクルーシブ教育システム推進事業 384万円**
インクルーシブ教育推進員を配置し、インクルーシブ教育システムの理念の普及や推進員による学びの場の見直しに関する助言、好事例のPR
- アクティブラーニング型消費者教育（SDGs）推進事業 200万円**
若者を対象に、学校等でSDGsに関連したアクティブラーニング型の消費者教育を実施
- SDGs連携促進事業 280万円**
県内企業・団体等のSDGsの取り組みや県、市町村、県内企業等の連携を促進し、本県のSDGs達成に向けた取り組みを推進（7月11日（金）にセミナーを開催予定）

令和7年度自治振興セミナー（富山県・（一財）地方自治研究機構 共催）

日時：令和7年7月11日（金）会場：富山国際会議場

・「ウェルビーイングについて（総論）」 予防医学研究者、博士（医学） 石川 善樹 氏

・「AIと人間らしさの本質：人はAIと共進化する」（株）日立製作所フェロー、（株）ハピネスプラネット代表取締役CEO 矢野 和男 氏

・「行動の加速とビヨンドSDGs」 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授 蟹江 憲史 氏



お申し込み等はこちらから